

1989年 6 月号

(1989年6月5日発行 (毎月1回5日発行))

No.148

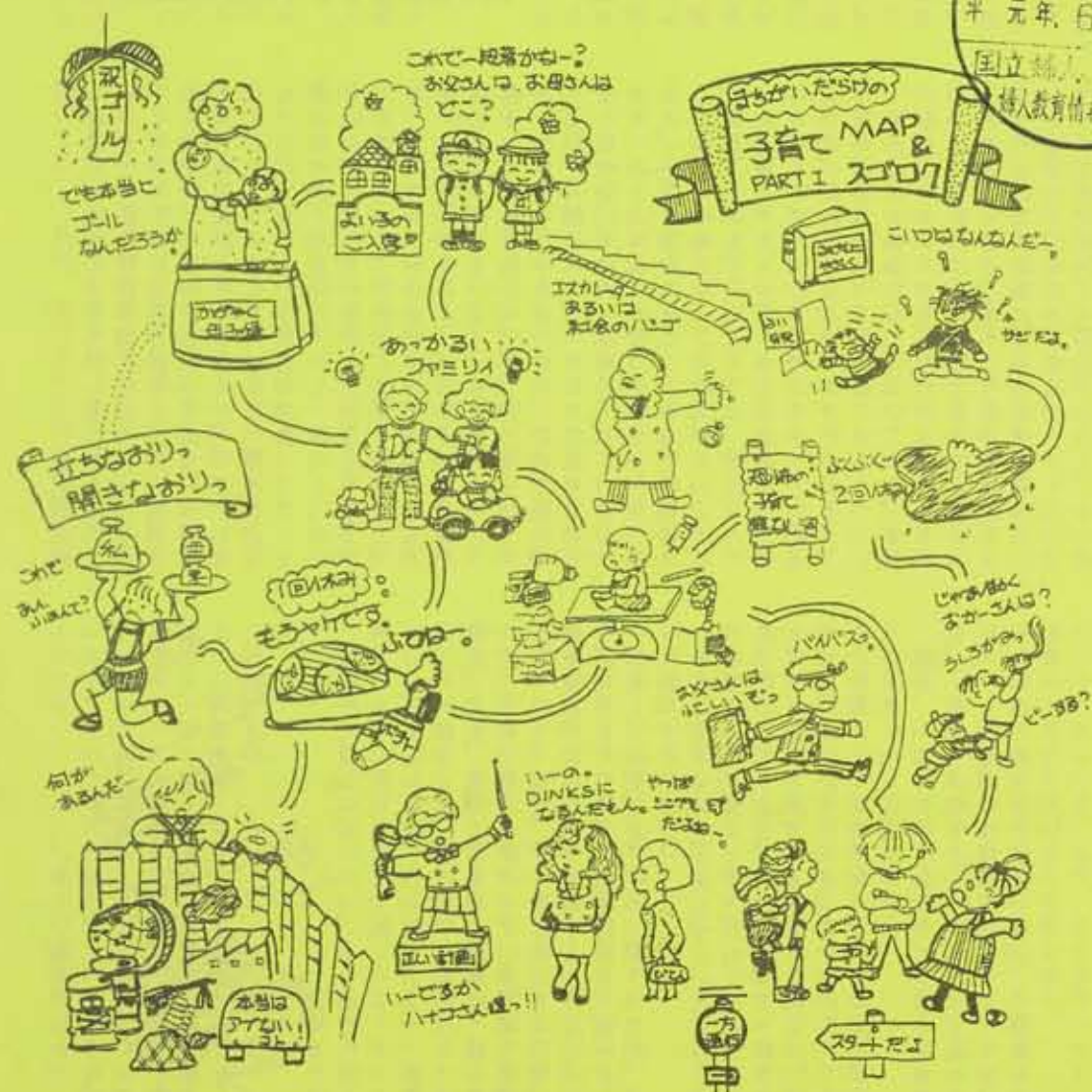
あひるあひて

発行人/ 発行所/あひるあひて出版部
定価/400円 振替口座/ あひるあひての会 電話/

逐次刊行物

平 元年 6. 17

国立婦人
学教育情報





— 特集 —

いったい何を
信じればいいのか？

おしよせる子育て情報のこなし方

中野以西の中央線沿線の混成メンバーが、編集担当となった今回の情報紙。中野の婦人会館に集まって「何にしようね」と思案の途中に、メンバーの一人富沢さんが1冊の本を出しました。「紙オムツを使っていると頭が悪くなる」という内容に、ちょうど子供の小さい全メンバーしばらくワイワイガヤガヤ。そのうち「この頃ってこういう本が多いわ」「雑誌も沢山あるしね」「情報が本場に迷うくらいだね」と広がって、「情報過多の中の子育てをテーマにしようよ」とトントン拍子に話が進みました。

私は、初めての子育てにいろいろと悩んでいます。お産の時は実家にいたので、おしよるとめさんや母の意見を参考に心強かったのですが、いざ東京に帰って来て一人で、赤ちゃんの世話をすると、いろいろな疑問が生じてきました。哺乳瓶の煮沸はどんなペースでやるんだ？乳首の消毒はいつと続けるのか？洗濯は大人のと一緒にしてはいけないのか？寒い日の散歩はだめなの？「わかんない。誰かおしえて」と叫んでも、うちのマンションは小さい子供のいる人がいない。というところで、ついつい育児書や雑誌に頼ってしまいます。先日「ママノ紙オムツを使わないで。僕、頭が悪くなっちゃう」とかいう本を見つけて、思わず読んでしまいました。「紙オムツってそんなに気持ち悪いものなのか」と一人で納得してしまいました。でも、あんふあんの皆さんとしゃべってみると、「本に書いてあることとか、保健婦さんの意見とか鵜のみにしない方がいいよ」と言われ、「ふん、それもそうだ。雑誌なんてミルク会社やオムツメーカーの宣伝で成り立っているのだ。ミルクやベビーフードや紙オムツや、頭の良くなるオモチャが売れるように書いてあるんだ」と考え直しました。「紙オムツを使わないで」という本も、著者の開発したオムツの宣伝なのかなと思えるので、あいかわらず、外出時や夜中など紙オムツを使っています。要するに我が子は我が子、マイペースで、情報に惑わされず子育てしよう、と思っているのですが……

富沢
「あつ、新しい製品が出た。」
「ゲゲノ私のやり方と違う」とつぶやきながらむさぼるように読んでしまう私。テレビでもCMや、育児相談など情報ばかり飛びかう毎日、私のような孤独な新米ママは、いかにいい情報をピックアップするか、むずかしい問題ですね。
吉崎
情報の氾濫とは言いつつ、あり過ぎの害も考えても、必要なものまで無いのよりずっといい。何も知らない、判らないままが一番怖い。人の顔をしたら、地に着いた情報はとても貴重。でも、情報と言われる実態は、顔のないデータだったり、妙にコワイ専門家の御意見だったり。案外、今一番お役立ちなのは、情報検索のためのウラ情報かもしれない。「この研究者とこの学者は去年座談会で掘み合いの喧嘩して以来、必ずけんし合う」とか。(冗談ですけれどね)
それはさておいて、「聞かずにいられない」の心配性と、「聞いとくや安心」の責任感について走ってしまおう。「母乳でなきゃ駄目である」だの「2歳ではもう間に合わない」だのおどかし型が多いうえ、こちらにも「うまいくいかなきゃ」精神があるせいなんだろうな。つい乗せられてしまおう。
結局、「育てるのは私なり」の開きなおりを、「育つのは親子とも」の謙虚さで固めるしか、この情報の海を泳ぎ切るパワーの源はないかなと思っています。はい。(自戒をこめて)

マスコミは今の私たちを「贅沢主義を貫くメールヌープ(新しい母親)」とスーパーレディっぽく賛美し、離したてているけれど、真の姿は、企業広告っぽいの垂められたいかげんな育児情報にふりまわされて喘いでいるあわれな自信喪失者たちなのよ。もともと自分に自信を持って、独自の育児スタイルを築きながら、溢れる情報の中から、必要な情報だけ選んでいけばいいんだけど、豊富な育児商品(紙おむつや絵本ビデオやキャラクターグッズなど)を手に入れたしまった私たちは、自分だけの育児スタイルを創り出すことをすっかり忘れ、怠ってしまったというのよ。ぐちぐちゆれていて、だからすぐ自分の子とよその子と比較してしまう。子供とどのように接していけばいいのか、もつともつと頭を使って考え出さなきゃいけないんだと思う。

傘がない私には

高野
はじめての子供を産んで七ヶ月。私の友達とはほとんどまだ結婚していないし、もちろん子育てなんて。近所に知り合いはいないし、母や姑の知識はほとんど化石。人から得られる情報の極端に少ない中でも、ほんのささいなことでも心配してしまう生まれたところの比喩。ずい分とズーゾーしくなってしまう。たいていのことは時間が解決することや、赤ん坊なんて千差万別、標準なんてありやしないことが、体験を通して少しずつわかってきて、若い母親の心を強くし

てゆくようです。

公園で会う同じ立場の母親は、きつと心配ごとがあるのだから、ゆきずりの人には、そんなこと話さないように。また新米お母さんには「子供が二人」というだけで、もうずいぶんとカンロクたつぷりに見えて、新入生が、部活動の先輩の前ではたしてこの部でやってゆけるだろうかと萎縮してしまうのにも似た心もちになつてしまったり。そのうえ、たいそうおせっかいな情報たちは、「心配ない大丈夫」と、よけいに心配になる心をかき乱してくれまう。

でも、その中になつて自分が知りたいと思つていたことが見つかることもあるわけで、見のがしたくはあります。雑多な情報の中で、自分に必要なものを取り入れ、いらぬものは切り捨てることのできる自分なりの目は、心のゆとりがもたらすのではないかと最近思っています。その心のゆとりは、ほんとに困った時、助けてほしい時に、飛び込んでくれる人や場所があること、かけ込むのではないかなあと。傘のない私には、かけ込む軒下があるということが、たまには雨にうたれるのもよいではないかという、ささやかな余裕を与えてくれるのです。

増田
私個人のことに限っては、「情報なくしては、生きていけないタチ」と申しあげた方がよろしいのですが、育児に関しては、正直言つて、あまりの情報の多さに辟易しています。とにかく、あつここの、専門家さんが、競つて新しい説を、まア次から次へと打ち出



今、育児雑誌や妊婦向けの雑誌が花盛り、芸能人とその「お子様たち」がファッションブルないでたちで飾る表紙……育児は今や、ファッションの一部になっているようです。公園で見かけるお母さんたちもとてもおつしやれ！なのですね。育児に追われて髪の毛ふり乱し……なんていうのは遠いむかし。楽しくておしゃべりな子育てが悪いと言いつもりはないのです。私だって、「子どもができたっておぼんくさくはないゾ」とがんばって来たのですから……でも、おしゃべりな子育ての裏にあるものは、育児に対する迷い、とまどい、悩みだと思えるのです。それは、今もむかしも全然変わっていないと思うのですが、ファッションブルな雑誌からの情報だけを頼りに一人で背負いこむ育児は、むしろむかしよりもずっとたくさんの迷いがかかっていると思います。子育てに関する様々な情報の中から、どれが正しいのか？どれが子どものためにいいのか？誰かに相談してみたくて育児相談に電話をかけてみたり……でもその相談室にはしつかり育児産業のスポンサーがいたりして、一体、何を信用したらいいのでしょうか。育児雑誌だって様々なスポンサーから成り立っているのです。スポンサーの気遣いをそこねるようなことは、載せられせんよわ。子育ては、悩みや迷いの連続です。そのうえ、様々な企業がらみの情報で右往左往するなんてちょっと大へん！もつと……いろんなことを肩の力を抜いて考え合える仲間や、先輩を持つとおしゃべりな母親たちももつと……輝くのではないかな？と思うのですが――。

会田

「情報」に対する僕の基本的な考え方は、「空腹こそ最良のスパイス」ないしは「必要は発明の母」という事である。つまり、本当に必要な時に、コレダッという情報だけを求める。逆に、いつか役に立つかもしれないとか、ついでに知っておいた方が……なんていう情報は、どうせ価値はないのだから、いらない。

吉田

(吉田の夫)

この考え方は、仕事での体験から自然と身についたものだ。例えば、会社で使っている僕のデスクには、ファイルを入れるひき出しが三つあって、会社特製の十センチ厚のファイルが計十五冊入る様になっているんだけど、ここに何をストックするかは真剣勝負なんです。すなわち、ライバル会社から倍の給料でスカウトされそうになったら、サッと持ち出せる重要なノウハウを収めるのに、五冊は必要。次に、開発中のエンジンのテストデータの重要なやつだけで五冊。それ以外は、会議の議事録だのファックスだの五冊である。いちばん大事な事は、この十五冊の全てのページにわたって、「どの辺に、どういう類いの物が入っているハズ」かを僕が覚えていて、という事だ。これを忘れてしまったり、ページをめくっているうちに、「アレっ、こんなのファイルしたかな？」なんていうのは、即、捨てる事にしている。これをやらなくとも、この十五冊のスペースには絶対収まらなくなるし、第一、自分が存在を知らない情報を後になって探し出そうなんて思うわけないじゃないか！

「情報」は、無くて困っている時に探せば

よいのです。困っていない時に、いつかは必要かと思つてインプットした情報は印象が薄いから、イザッという時に、全然役に立たないのではありません。まして、この世には、いつまでもたつても役に立ちそうもない「情報」が溢れています。これらの「情報」をインプットする、読む、見る、聞くだけで、まあ、結構なエネルギーを使うわけで、それならば、僕は昼寝をしていた方がマシです。もし、それで無知の仙人だのと言うやつがいたら、僕は聞き返してやりたい。「アナタ、それを知っている事で、どれだけいい事があつたの？」

あんふあんてから あんふあんてへ

「密室育児からの脱出」、読んでます。

豊島区

今日、「密室育児からの脱出」ただ今子育てまっさいちゅうーが届きました。どうもありがとうございます。毎日、少しずつ読ませていただきます。少し読んでみて思うのは、一人では何もできないけれど、一人で悩んでいても仕方ない。何とか自分の子供達だけでなく、すべての子供が目を輝かせて生きてゆけるような環境を、大人が考えていかなければいけないと思うのです。

地域社会の結びつきがほとんどない今、子供と一緒に遊べる仲間をつくってあげること、皆で楽しく行事をやることも大切なことだと思えます。母親が働きバチの父親以外、一日中ほとんど他の人と話すチャンスがないのは、子供にとっても母親にとっても良い環境とはいえない。皆、仲間を必要だと思つていて、その為には、多少のことを背負わなければいけないでしょう。少々のわずらわしさ、忙しさは仕方ないと思えます。誰かが準備したことは参加するけれど、自分で企画したりするのは参加する人が多くて残念です。私は、一年前に、近所や公園で知りあつたお母さん達と、「ドレミの会」という小さな会

をつくりました。自分の音を大切に、皆で奏でるハーモニーを楽しもうという願いを込めて活動してきましたが、自営業やフルタイムで頑張っている人や出産や転居でだんだん皆で会う機会も少なくなりました。でも細いかなさな糸になつても、毎月「ドレミニュース」を発行することで、ささやかに皆の声を聞き合いたいと思つています。毎日やるべきことはいっぱい。洗濯も掃除も買い物も食事の仕度も……。でもそれだけで毎日流されるのはつまらないので、公園を庭に児童館を子ども部屋に、図書館を本棚にと、なるべく街の中で、二人の子どもと一緒に生活しようと思つています。

一時託児の年令制限に思う

府中市

先日府中で原発の講演会が行われた。パンフに託児付とあつたので勇んで代表者に電話したところ、明記してないが託児は二才以上とのことで一才七ヶ月の我が娘は預れないと言われた。しかしその後20分位、原発集会開催のいきさつやら府中市の保育体制やらについてその代表者と電話でしゃべっているうちに、他の所で何度か単発の託児に預けた経験があり大丈夫だったと話していたら、それでは熱意に込めて二才という事で預りますと相手の方から言ってきた。ほつとして電話を切ったが10分程して、今保育者に許可を求めたところ、やはり一才児は引き受けかねると言われたと、すまなそうに断ってきた。府中市では市主催の育児講座でも託児は全て二才

以上となつていて、その講座から生まれた自主グループでも託児ではなく保育と強調しているが、やはり二才以上と限定している。私は本来子どもを預けて学ぶという事を純粋に考えるなら二才以上とか年令制限すべきではないと思う。学びたい人が学びたい時に自由に学べるのがベストで、0才でも一才でも環境さえきちんとしてあげれば可能であると思う。特に保育など望めない単発の催し物の一時託児では年令制限などナンセンスだと思う。確かに保育が大変なのはよく解るが、子どもを預けて話に没頭でき有意義な時間を持つてよかった、また次の機会にも是非参加したいと思う人が一人でも二人でもいて輪が広がってくれたら、主催者も保育者も冥利につきてはならないだろう。幼な子を持つ母親にとつての束の間、のこの洗濯の時間を保障できるような風通しのよいゆとりある社会をめざして、環境を整備していくような運動こそが大切なのだと思う。女達の様々な状況を尊重し合いながら連帯し、とにかく分断していくのだけは避けたいと思う。



のいちこの会との出会い

杉並区

もつと親同士、子育てを含めていろいろ話しあいたい。子供には、屋外でのびのび自由に遊ばせたい。もつと沢山の発見や創造の場を与えてやりたい。とにかくもつと元氣よく楽しく子育てしたい。そんな気持ちで私は2月にあんふあんてに入りました。(31才、杉並区阿佐谷在住、もうすぐ2才の長男を子育て中、サザン、ユーミン大好きの典型的ミューズ主婦)そして、2月の梅里中央公園での平日あんふあんてに初参加して、そこでのいちこの会のメンバーと出会いました。(ずいぶん前の話になってしまっただけ)3月3日のひなまつりに、福野さん宅でおすしで雛人形を作るけど来ない?と誘われたので、好奇心旺盛な私は面白そうだなと思つて顔を出すことにしました。AM11時30分福野さん宅に到着。10人以上の子供たちのほしやぎ声の中、おかあさんたちの人形づくりが始まつていて手順を教わり私も手伝いしました。作り方は、五目ずしを三角に握つたものを2つ用意してうずら玉子を上にのせて顔にする。おひなさまには、半月形の薄焼玉子の着物を花形に切つた人形を着せて着せる。内裏さまには長方形ののりの着物を着せ、頭にものりの冠をつける。といった具合。のいちこのどなたかの子供さんが、お友達の家によばれてごちそうに出たものからヒントを得たそうで、あんふあんて風にアレンジしたそうです。子供たちのつまみ喰いくずし攻撃にもめげず、愛らしく2つづつ白いお皿に飾られ、他にもフライや香の物、お吸物などメ

三十代こそ私の青春・その一、再就職

中野区

思えば20歳で結婚してまるまる10年、私の青春は3人の子育てに明け暮れた。もちろんあんふあんてを知り、いろいろな事に首をつっこみ、決してつまらない時代ではなかったが、それでも今、9歳、7歳、3歳という子ども達を見てみると、「ああ、私一人でよくぞここまで!」と感慨ひとしきり。(夫はとうとうこどもでも登場しない)

何をかくそう私の誕生日は四月一日。年度のきりがいい。「さあ、今年は何の年にしよう!」と、正月気分でもいつも計画するのだが、さて30歳ときて、専業主婦生活10年をふり返つてみた。生協やつた、預け合いやつた、女性問題グループやつた、地域活動それなりに、反原発も反戦もそれなりに、家事ははなから投げ出している。

さあ、残された目標は、働くこと。よし、決めた。とりあえず保育園の申し込み。平成元年一月に区役所へ行って、私の再就職活動はスタートをきった。まず、保育園の応対が冷たい。「仕事は決まっていますか。まだですか。どこか捜していますか。」と追及されて、漠然と「何かいい仕事はないかな」と思つていた私は、ケリをいれられなく、突如焦り出した。あちこち声をかけても、そんなにうまい話があるわけではない。また、自分が何をしたいのかもはっきりしなれない。

- ① みんなで食べもの屋やろうか。
- ② リサイクルの子ども服やろうか。
- ③ やつぱり前やつた編集かな。
- ④ でも時間帯を考えたなら10時4時のパート。

ンバー手製の料理がテーブルにセッティングされ、ワイワイガヤガヤの中、全員集合、記念撮影、そして待望のいただきまーす。デザートは、菱餅の色彩した牛乳ゼリーと、五色飴と私持参の力作?のクッキー。あつというまにすべて無くなつてしまいました。初めて参加したのいちこのひなまつり。親と子の気持ちがひとつになれて、みんなが楽しめた、あたにかいひとときでした。子供は母親たちの創造意欲を掻き立てる活力源なのか?私は、今までののいちこの会の活動状況やメンバーの入会動機など全然わからないけれど、活動にクリエイティブな面がみられていいなと思つています。のいちこの皆さん、もつというテーマをあげて話しましよう。子育てを政治とおして優等生っぽく考えるのも確かに大切だけれど、軟派な私のタイプとしては、もつと柔らかく絵や音楽、読書、映画、旅、スポーツ、ファッション、料理などをとおしてライトに考えて行きたく思っています。もつといういろんなジャンルの話ししよう。のいちこの新風になれるかな?

近況報告

東村山市

二年間以上、参加させてもらつてきた自主保育グループが、この三月、一応終わりになりそう。ほとんどの子が幼稚園へ行くから。自分の子も行くのだけれど、途中で小さい子を次々と入れて、継続できればよかったけど、ある程度仲良しになると、新しい人を開拓する気が少なかったような気がする。反省。

聞いて下さい!

北区

娘「おかあさん、ジジとババ(私の両親)のところへ帰っていいよ」
私「えっ?! 平気なの?!」
娘「おばあちゃんがいるもの」
(我家は主人の両親と同居です)
私「でも、ひかりちゃん(下の子)はまだおっぱい飲みながらでないと寝られないから、ダメなんじゃない?」
娘「大丈夫だよ。牛乳いっぱい飲ませれば寝るよ。だからもう帰っていいよ」
私「……………」

三才半になる娘と私の会話。なんだかみじめ、よわエー?! そういや、二週間前、主人とハデにやり合つたんだ。それを娘はしっかり見てた。その時、「出てけ!」と言われたんだ。うーん、参つたな。私皆さん、こんなことなかったですか? 私ショックでした。でも、なんだか身が軽くなつた気もする。子供の方が一歩先をいつてるかな? そつちがその気なら、よし、私だつて……………」と、何か書いてみた、ウン。



お家でワープロをうてるなら!と言われる。ワープロ、パソコン、マニュアルとカタカナだらけの仕事場に、10年の月日を感じて、よし、ワープロの勉強だ。と決意する。ところが、ここにきて重大な誤ちをおかしていた事に気づく。履歴書にカラーのスナップ写真ははつていたので、とらばーゆを読むと、見事にやっていたはいけない失敗の所に書いてある。

教訓①写真はちゃんと写真屋で履歴書用とって10枚はとつてもらうこと。
その次は真打ち。西武信用金庫の女性カメラマン募集。週休2日。15万5千円。主婦可。どうだ!これつきやないでしょ。面接に行つたら、二枚のポスターを見てのイメージと感想など書かされ、緊張のまま、人事担当のおじさんと若い子と20分位面接。いや、手厄え有り、と自信をもっていたが、帰って社史を読んでいたら、あの西武デパートとは何の関係もない事が判明し、ポスターのイメージに、さすがは西武!などと書いてしまひ、一機に奈落の底につきおとされる。

教訓②面接の前には会社のプロフィール位、頭にいれときましよう。(あ、常識か)かくして、苦難の道のはまだ、まだ続く、三月に入つても、保育園、学童の通知は来ないし、就職も一向に決まる気配がない。ああ、もうすぐ私の20代が終わるのに、こんなに暗くていいの!と月に向かって吠えています。



子育て講座に 向けて

— アンケート結果から —



いよいよ今月始まった子育て講座。スタッフする人、参加する人。人の輪が広がってワクワクしています。さて、今回企画にあたって皆さんから、子育てを巡る事柄についてアンケートをとりました。いずれも子育ての生の声。これをそのまま内部情報にしてしまうのは、いかにも惜しい。そこで誌上発表となりました。内容に心当たりのある人、ない人読んで楽しんでね。それから、興味のある人は是非2・3回目に参加を。待っています。(一回目の感想は次号以下でまとめて報告します。こっちは楽しみにしてね。)

1. あなたの年齢、職業は。
*年齢 20代 21人 30代 42人 40代以上 2人
*職業 ある 26人 ない 49人
2. 子供の数。同居の家族は。
*子供 1人 28人 2人 31人 3人以上 6人
*同居者 夫の親 2人 夫の親 4人
何かグループに属していますか。
属していない 17人 属している 48人 (重複回答)
*自主保育 19人
*生協 14人
*趣味・サークル 16人
*公共団体 5人
*社会活動 3人
*その他 2人
3. 子育てを助けてくれる人、相談に乗ってくれる人はいますか。夫はどうですか。
いない 2人 いる 63人 (重複回答)
*夫 26人
*自分の親 21人
*自分の姉妹 5人
*祖母 10人
*友人 2人
*近所の人 21人
*職場の人 12人
*その他 1人
子育ての相談で公的・私的機関を利用したことはありますか。利用した感想は。
ない 32人 あり 30人
*その他・不明 3人
4. 子育ての相談で公的・私的機関を利用したことはありますか。利用した感想は。
ない 32人 あり 30人
*その他・不明 3人
5. 子育ての相談で公的・私的機関を利用したことはありますか。利用した感想は。
ない 32人 あり 30人
*その他・不明 3人
6. 現在(過去においても)子育てのことで悩んでいることはありますか。
ない 10人 あり 55人
*密室育児 12人
*子供の健康 16人
*周囲との意見の食い違い 9人
*保育園・幼稚園・学校 7人
*子供の性格・母子関係 12人
*兄弟関係・上の子供のこと 2人
*環境について 2人
今迄の子育ての実践の中で、これはよい方法だと思えるものはありましたか。
*子供と触れ合い、焦らず長い目で見つめてよその子と比較しない。 18人
*子供の自主性を尊重し、あまり叱らず、よく説明して言い聞かす。 7人
*友人や、自主グループの仲間との親子共々の交流が楽しくなれて良かった。 11人
*公園など外でよく遊ばせる。 2人
*母乳で育てたのが良かった。 2人
*その他 11人
*なし、子育てに自信がない。 15人
子供の育て方での、夫や周囲との意見の違いなどありますか。
ない 13人 あり 52人
7. 今迄の子育ての実践の中で、これはよい方法だと思えるものはありましたか。
*子供と触れ合い、焦らず長い目で見つめてよその子と比較しない。 18人
*子供の自主性を尊重し、あまり叱らず、よく説明して言い聞かす。 7人
*友人や、自主グループの仲間との親子共々の交流が楽しくなれて良かった。 11人
*公園など外でよく遊ばせる。 2人
*母乳で育てたのが良かった。 2人
*その他 11人
*なし、子育てに自信がない。 15人
子供の育て方での、夫や周囲との意見の違いなどありますか。
ない 13人 あり 52人
8. 子育てに自信がない。
子供の育て方での、夫や周囲との意見の違いなどありますか。
ない 13人 あり 52人
9. 子育てに自信がない。
子供の育て方での、夫や周囲との意見の違いなどありますか。
ない 13人 あり 52人
10. 子育てに自信がない。
子供の育て方での、夫や周囲との意見の違いなどありますか。
ない 13人 あり 52人
11. 子育てに自信がない。
子供の育て方での、夫や周囲との意見の違いなどありますか。
ない 13人 あり 52人
12. 子育てに自信がない。
子供の育て方での、夫や周囲との意見の違いなどありますか。
ない 13人 あり 52人
13. 子育てに自信がない。
子供の育て方での、夫や周囲との意見の違いなどありますか。
ない 13人 あり 52人
14. 子育てに自信がない。
子供の育て方での、夫や周囲との意見の違いなどありますか。
ない 13人 あり 52人
15. 子育てに自信がない。
子供の育て方での、夫や周囲との意見の違いなどありますか。
ない 13人 あり 52人

9. 子育てに自信がない。
子供の育て方での、夫や周囲との意見の違いなどありますか。
ない 13人 あり 52人
10. 子育てに自信がない。
子供の育て方での、夫や周囲との意見の違いなどありますか。
ない 13人 あり 52人
11. 子育てに自信がない。
子供の育て方での、夫や周囲との意見の違いなどありますか。
ない 13人 あり 52人
12. 子育てに自信がない。
子供の育て方での、夫や周囲との意見の違いなどありますか。
ない 13人 あり 52人
13. 子育てに自信がない。
子供の育て方での、夫や周囲との意見の違いなどありますか。
ない 13人 あり 52人
14. 子育てに自信がない。
子供の育て方での、夫や周囲との意見の違いなどありますか。
ない 13人 あり 52人
15. 子育てに自信がない。
子供の育て方での、夫や周囲との意見の違いなどありますか。
ない 13人 あり 52人

「風を透そう子育てに」第2・3回のお知らせ。次の日時・場所です。来てね!!

★第2回 6月18日(日) 2時から4時

「毛利子来さんと語り合う」

今、本当に大事なことは?

中野区勤労福祉会館(中野駅南口徒歩5分)

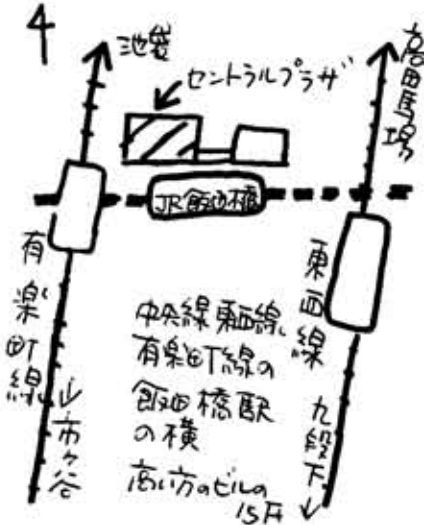


★第3回 6月29日(木) 10時半から12時半

「密室育児からの脱出」

子どもと大人の友達づくり

婦人情報センター(セントラルプラザ15F)



情報コーナー

★「千葉あんふぁんてからのお知らせ」

一日おしゃべり会

育児まつさい中のあなたも、やれやれ、ようやく卒業のあなたも、子育てについて、思いつきでディスカッションしましょう。

タイトルは、私流「密室育児からの脱出方法」について語り尽くされた内容の様でも、やはり、これが原点、過去・現在のグループ活動の報告を踏まえて、これから(未来にむけて)のグループ作りを、共に考えていきましょう。単に自分の経験を話すだけ、人の悩みを聞くだけ、と思うな。話すことで、時代が見える、社会が見える、あなた自身が見えてくる。明日へのフアイトが沸いてくるような、そんな一日にしましょう。

日時 6月24日(土) 午後1時30分

午後4時30分

場所 松戸市婦人会館(松戸駅西口、徒歩5分)

問い合わせ 高松まで



赤ちゃんのいる暮らし 毛利子来著
手取り早く言えば「育児書」なのだが、従来の育児書の多くに見られる「月齢別」や「発達領域別」に分けて叙述されているのは、大きく異なった本だ。
それは、赤ちゃんが一人の人格を持って生まれ、親をはじめ、祖父母、友人、近隣などとの多くの関わりの中で育っていくことを、作者がとて大切に考えているからだろう。いかにも頼りげない、一人の人間が、二人の間に割り込んで来た時、二人の生活は、いっぺんにして、一人の人間の生の営みに巻き込まれるを得なくなる。
当然起ってくる様々な悩みや問題、その育児の責任を、母親だけに負わせるのではなく、父親と二人で対処していくことを肯定して、具体的に、悩みに答えている育児書だ。
産休明けから仕事に出る母親は、少くとも赤ちゃんの情緒について何らかの心配をするのではない。そのことについては、これまでで不可欠といわれた「母子関係」も、預かってくれるひとが他人であっても、親身になって世話をしてくれれば、赤ちゃんは安定できると書かれている。
又、「産休明け保育所」の項では、「産まれたらすぐ、父親が申し込むこと」とあり、二人で読む価値もありそうだ。
随所に、詩なども載せてあり、ほのぼのとした和洋氏のイラストが、この本のイメージを一層引き立ててくれている。
※第2回のパネラー毛利さんの本を会員の増田さんが読んで感想です。

覚えていますか
チェルノブイリの原発事故を? その29
原発を陰で支える人々たち
核燃料を原発に運ぶ仕事を請け負っている「東海村」という行き先が銘記された伝票を何度も目にした。核燃料を輸送する際、その運送会社の社員は、立ち会わない。その日暮らして生きている人々をお金でつって連れてくるというのだ。連れてこられた人達は、それなりの作業を着せられ、核燃料を輸送する仕事に完了した後は、伝票を持ってお金ももらいにくるのだが、その時、社内には、入れ替わらず、外で作業を着せられ、お金を渡される。私自身が実際に見たわけではないからこれを「事実」として伝えるわけにはいかない。でも、こういつたこともあるらしいということは、知っておきたいと思う。原発の下働きは、常に、貧しい労働者なのだ。「安全には万全を期している」といくら、電力会社の人達が言ったとしても、その人達自身が、原発に直接、携わらない事実、そのことばを空気にする。
「原発ジブシー」という本がある。著者自ら原発の下請け労働者となつて危険な作業に従事した体験を書いている。この本の中には、労働者たちの過酷な状況が単々と綴られているのだ。原発の是非が様々な形で論議されるテレビでも特集されたりするが、同じことばの繰り返しにややうんざりする。本当に原発の危険の中で生きている人たちの声なき声にもっと耳を傾けてもいいのではないかとこの頃思う。(会田)

★WANTED

来年秋にオープンする芸術文化会館(仮称・他袋)には、小さな託児室があります。
一九八七年夏、議員になりたてだった三井マリ子さんの選挙の催しのたびに「保育は」とあんふぁんて連にやましくいわれていて、と協力して、最終設計が議決されてしまった直後から、託児室をつくるように運動した成果です。(一九八七年九月号と十一月号)
そして今、その託児室の設備と利用運営について、また働きかけなければなりません。是非担当スタッフになつてください。
連絡先 円満

又は事務局まで

★ひきつけの経験のあるお子さんをお持ちの方、お手紙下さい。
三月に入会した、山形県の平吹 です。二十八才です。いろんなことに興味をもちたく、入会しました。
今年四才になる息子は三年保育で幼稚園へ。あと、一才六ヶ月の娘がいます。娘はひきつけの経験があります。ひきつけの子どもさんをおもちの方と、交友をもちたいと思いますので、そういう方ぜひお手紙下さい。

★「元気の出る会」は解散、新グループをはじめました。
「元気の出る会」は、ほとんどのメンバーが幼稚園に入園したため、必要度が低くなったため、四月で解散しました。



★「あんふぁんて町田」の連絡先が変更になりました。新しい連絡先は左記。
なお、阿保さんを中心に私や旧メンバー十αで月二回「親子工作会」を津田公民館で始めています。金曜午後2時半/4時、園児中心で幼児室付。交替で保育又は製作です。
やってみると子どもは勝手に遊び、親は工作に夢中、おしゃべりに夢中。それでもまあいいじゃないかという具合。

★みんな集まれ
日時・7月5日(水) 1時/3時
場所・こどもの城(JR渋谷駅下車徒歩10分/地下鉄表参道下車B12出口より7/8分) 集合場所は正面入口。
こどもの城が1時からなのでとりあえず集合時間は1時ですが、元気のある方は早めに出かけてスタッフと昼食を一緒にとりませんか。
参加申込は30日(金)までに松島へ。

編集後記

●今回、会誌の編集をしてみても、近くの会員さん達と交流が深められて良かったです。自分一人で悩んでいた事もワイワイ言いながら編集作業しているうちに吹き飛んでしまった。東京だけでなく、九州の人や東北の人、いろんな所で編集ができるようになった面白さなと思います。

●いつもミハーで生きている私ですが、あんふあんで向うときは、チョッと真面目、いろいろな「私」があると、毎日がおもしろいと思う今日この頃です。(会田)

●元氣印のスタッフのマシガンの如き対話に、驚き全くとつていけない私。数居の高さを感じてしまいました。でも、私にとっては刺激的な有意義な一日でした。今回は、原稿投稿の形で参加させていただきま。 (小松)

●いつもバ切間際にしかなった原稿を、珍しく早めに書きあげた。ところが、しばらく日にちがたつて、原稿を清書しようとしたら、見当らない。狭い家なのに、粉失してしまつたらしい。くやしき一杯で、始めから書き直した。やつぱり原稿はギリギリで書くことに尽きるのかナ。(増田)

●夫は、ウンチのおしめは替えてくれませんが、原稿書きであんふあんでしてくれました。感謝、感激、雨あられ。(吉田)

●夏に転居します。(市川、松戸、柏、皆すぐ隣りだと思つた)事務局が遠くなる。萩窪で二年半、子供もいる暮らし方を新しい場所でも探さねば。千葉の皆さんよろしくね。杉並の皆さんどうもありがとう。ということ(吉崎)

事務局から

●このところ「転居先不明」で戻ってくる郵便物が多く困っています。春の転勤シーズンなどで引越した人は至急連絡下さい。休会・退会の場合も前月までに連絡がないと、こちらで保険料などたてかえることになるので、早目に教えて。グループ連絡先交代は、特に今月中旬までに教えて下さい。

●今月号には来期アンケートが同封されています。入っているかどうか確認して下さい。あんふあんでの活動は、会員一人一人の意見によつて決まります。年一回の会員交流会に参加できない人、あなたの意見を言う貴重なチャンスです。ぜひ回答して下さい。その他言いたいこと、お便り、近況、詩、イラスト、何でも一緒に送ってもらえると嬉しいのです。自分が何をやりたいか、何ができるか、会を動かす一人として考えて下さい。

スケジュールメモ

6月7日(木) スタッフ会議(中野婦人会館)
6月16日(金) 切手はり (事務局)
6月18日(日) 子育て講座第2回 (中野)
6月24日(土) 土曜あんふあんで (神楽坂)
6月29日(木) 子育て講座第3回 (飯田橋)
7月3日(月) 7月号発送 (神楽坂)
7月10日(月) スタッフ会議(中野婦人会館)
★情報誌の作り手、お便り、求めています。

☆当会について詳細を知りたい場合、封書にて、郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記し切手四百円分(なるべく少額切手で)を送って下さい。宛先は表紙上段に記載。
☆入会希望の場合は、なるべく六カ月(二千四百円)以上まとめて郵便局の振替口座で払い込みを。口座番号は表紙上段に記載。なおTELもお忘れなく。
☆事務局の電話受付は原則として月々金曜の1時から3時半です。御協力を。
☆会費の振り込みを忘れている方は至急振り込みを/休会、退会も必ず連絡をください。